

元原発技術者・小倉志郎さんと 原発PR映画を観る

10月4日(土) 第1部 小倉志郎さんのお話と上映 18:00～19:30 (開場17:30)

第2部 交流カフェ 19:45～21:00 会場：谷中の家(東京都台東区谷中3-17-11)

福島第1原発の技術者として35年間(1967～2002)働いた小倉志郎さんをゲストに迎え、一緒に原発PR映画を観ながらお話をうかがいます。映画は福島第1原発の建設が始まった1967年と営業運転を開始した1971年に製作されたもの。まさに小倉さんが仕事を始められた時期と重なります。当時のようすとご自身の体験からどんな話が飛び出すか…？かつて、そして今なお続く原発推進プロパガンダの嵐に対抗するには一人ひとりが原発の本質的危険性を理解し、それを自分の言葉で人に伝える力をつけること、と小倉さんは語ります。今回はそのための実力養成講座でもあります。

【上映作品】

■「黎明 福島原子力発電所建設記録 調査篇」1967年
発電所建設が認可されてから建設までの2年半における調査の記録。建設予定地の地質や地層、隣接する海などの調査の様子が記録されている。

■「黎明 第二部 建設編」1971年
安全に対する配慮や地元との協力体制、そして原子炉内部や原子炉立屋の建設を記録、さらに燃料の装填から稼動に至るまでを解説する。

(製作／日映科学映画製作所 「科学映像館」のサイトにて無料で配信されています。http://www.kagakueizo.org/)



昭和42年10月、格納容器の組み立て開始(建設編より)

【小倉志郎さんのプロフィール】



1941年、東京生まれ。慶応義塾大学工学部機械工学科卒、同大学院修士課程機械工学専攻修了。日本原子力事業(株)(のちに東芝に吸収合併)に入社。原子力発電所の見積・設計・建設・試運転・定期検査・運転サービス・電力会社社員教育などに携わる。2002年、定年退職。2007年に季刊誌「リプレーザ」Vol.3 夏号に、筆名・山田太郎で「原発を並べて自衛戦争はできない」を投稿。東電福島第1原発事故以降、原発の基本的な構造や本質的危険性についての講演会などを精力的に行っている。2012年、国会事故調の協力調査員として東電福島第一原発の事故の調査と報告書作成に携わる。「原子力市民委員会」メンバー。「軍隊を捨てた国コスタリカに学び平和をつくる会」世話人。著書『元原発技術者が伝えたいほんとうの怖さ』(彩流社、2014年)、紙芝居『ちいさなせかいのおはなし』

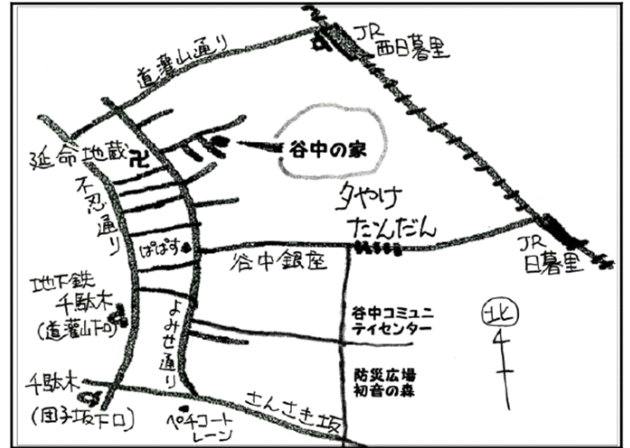
【参加費／定員(必ず予約してください)】

- 第1部：500円／定員:30名
- 第2部：500円(軽食+ワンドリンク付)／定員：20名(第1部に参加の方優先)

【会場】谷中の家（台東区谷中3-17-11）

メトロ千代田線千駄木駅・JR日暮里駅・JR西日暮里駅下車徒歩7分。
よみせ通り、延命地藏を東へ入る、2筋目を南へ入って東側2軒目。

●谷中の家●



【予約方法】 以下いずれかの方法で予約してください。

1. 申込みフォーム

【第1部】 <http://kokucheese.com/event/index/217235/>

【第2部】 <http://kokucheese.com/event/index/217236/>

2. メール eigasai@jtgt.info（アドレスが変わりました）

* 件名を「月1原発映画祭申込み」として参加者氏名（複数お申し込みの場合は全員のお名前をお書きください）、参加内容（第1部、第2部）を明記してください。

3. 電話 090-1265-0097（うえまつ）

* キャンセルされる場合は必ず事前にご連絡ください。

今後の予定

- 第31回月1原発映画祭／交流カフェ = 2014年11月1日（土）時間未定

「祝の島」上映+ゲスト：^{ほつり} 纈纈あや監督 & ^{はなぶさ} 山秋真さん（ジャーナリスト）

瀬戸内海に浮かぶ山口県の祝島で暮らす人々の生活と、その対岸4kmの地に持ち上がった原発建設計画を追ったドキュメンタリー。未来のために豊かな海を守ろうとする人々と、効率と利益を追求する社会が生み出した原発の28年にわたる戦いを綴る。

- 第32回月1原発映画祭 = 2014年12月6日（土）・・・スタッフ勉強試写会

- 第33回月1原発映画祭 = 2015年1月10日（土）時間未定

「チェルノブイリ・28年目の子どもたち」上映+ゲスト^{はじめ} 白石草さん（OurPlanetTV 代表）

月1原発映画祭について

毎月1回、原発に関連した映画・映像の上映と交流カフェを開催、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供しています。いろいろな考えの方が気軽に参加できる会をめざしています。

【これまでの開催内容】（ひがし広場HPのメニュー「月1原発映画祭」(<http://www.jtgt.info/?q=taxonomy/term/1>)のページ右側にある「これまでの映画祭／交流カフェ」から開催レポート等をご覧ください)

【2012年】 第1回「原発、ほんまかいな？」上映 ■ 第2回「絶対！原子力戦隊スイシンジャー」路上ライブ+上映/ゲスト：尾米タケル之一座 ■ 第3回「シェーナウの想い」上映/ゲスト：山木きょう子、彦根アンドレア他 ■ 第4回「真実はどこに？—WHOとIAEA 放射能汚染を巡って」上映/ゲスト：岩城知子 ■ 第5回「内部被ばくを生き抜く」上映/ゲスト：権上かおる ■ 第6回「シェーナウの想い」アンコール上映「未来への決断～ノーモア原発 Part3エネルギーの未来を創る挑戦」上映+ドイツ視察報告/ゲスト：彦根アンドレア、田島正城 ■ 第7回「フタバから遠く離れて」1日リレー上映会/ゲスト：船橋淳、双葉町の方 ■ 第8回「みえない雲」上映/ゲスト：高田ゆみ子

【2013年】 第9回「ネコマチツタ物語」上映+げんばつかるた大会/ゲスト：小嶋伸 ■ 第10回「フクシマからの風」「田神有楽」上映/ゲスト：加藤鉄 ■ 第11回「福島の子どもの現在のいま、そして未来（これから）」/ゲスト：藍原寛子 ■ 第12回「フタバから遠く離れて」アンコール上映/ゲスト：船橋淳 ■ 第13回 スタッフ勉強会 ■ 第14回「夏休みの宿題は終わらない」/ゲスト：倉岡明子 ■ 第15回 スタッフ勉強会 ■ 第16回「こんにちは真寮」/ゲスト：李怡修 ■ 第17回 スタッフ勉強会 ■ 第18回「100,000年後の安全」/ゲスト：澤井正子 ■ 第19回「こんにちは真寮」アンコール上映/ゲスト：陳威志 ■ 第20回〈闊祭（交流会）〉

【2014年】 第21回「お正月げんばつかるた大会」/ゲスト：古知屋恵子 ■ 第22回「シェーナウの想い」アンコール上映+市民立江戸川発電所見学報告 ■ 第23回「福島の除染現場と甲状腺検査を追う」/ゲスト：権上かおる・菊池京子 ■ 第24回「原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録」上映/ゲスト：堀切さとみ ■ 第25回「ネットから視聴できる原発関連動画のピックアップ」 ■ 第26回「原発20キロ圏内に生きる男」他上映/ゲスト：松村直登・藍原寛子 ■ 第27回「A2-B-C」上映/ゲスト：イアン・トーマス・アッシュ ■ 第28回「ハイ・パワー」上映/ゲスト：ブラディーブ・インドゥルカー ■ 第29回 スタッフ勉強会

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場
<http://www.jtgt.info/>